

## 甲斐警察署の設置を求める意見書

平成16年9月1日、旧竜王町・敷島町・双葉町が合併し、人口7万4千人余の県下で2番目の人口を有する「甲斐市」が誕生したところである。

昨今、治安の悪化や凶悪事件・事故が増加傾向にある中、現在、本市は甲府・南甲府・韮崎の各警察署が旧町の範囲を管轄しており、治安・防犯体制上において、市民は大変不安を感じているのが現状である。

市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを構築するためには、市内に警察署を新設し、治安の維持・防犯体制の強化を図ることが大切であると考えます。

こうした状況の中、昨年3月「甲斐警察署の早期設置」について、4万人を超える市民の署名を添え、山梨県知事・山梨県警本部長に対し「甲斐警察署設置要望書」を提出したところである。

ところが、過日公表された「警察署の再編整備基本計画（素案）」によると、本紙には、許認可窓口機能を持つ韮崎警察署の分庁舎を設置するという具体的方策が示された。これは、県警本部長の諮問機関である「警察署等のあり方を考える懇話会」が答申した内容、「警察署の管轄区域は、自治体の行政区域を原則として整合されることが望ましい。」「体制については、負担人口は約8万人、警察官は100人規模を原則とし、再編していくべき。」とそぐわない計画であり、甲斐市民はこの素案に到底納得できないものである。

よって、懇話会の答申に沿った内容に計画案を見直すとともに、甲斐市内に警察署を新設されるよう強く要望する。

平成18年 3月 2日

山梨県甲斐市議会

提出先

山梨県知事 山梨県警察本部長